

平成30年度 可児市水道事業会計予算の概要

(1) 総括的事項

・業務予定量

区 分	予定量	前年度増減	増減率 %	備 考
給 水 件 数	34,725件	310件	1.02	過去の給水件数推移から推計
給 水 量	11,118,000m ³	32,000m ³	0.29	過去の給水量推移から推計
有 収 水 量	10,295,000m ³	19,000m ³	0.18	有収率92.60%

(2) 予算額概要

(単位:千円、税込)

区 分		平成30年度	平成29年度	増 減	増減率 %
収益的収支[3条]	水道事業収益	2,643,000	2,622,000	21,000	0.80
	水道事業費	2,311,000	2,243,000	68,000	3.03
	差 引	332,000	379,000	-	-
資本的収支[4条]	資本的収入	97,000	133,000	36,000	27.07
	資本的支出	873,000	1,091,000	218,000	19.98
	過 不 足	776,000	958,000	-	-

収益的収支の増減内容

ア. 収 益 増減額 21,000千円

区 分	増減額(千円)	主な増減内容
長期前受金戻入 (工事負担金等)	3,791	ブロック統廃合整備事業(鳩吹台・虹ヶ丘)による鳩吹台管路の除却に伴う工事負担金等の収益化の増
特別利益(加入分担金)	15,900	新規加入件数の増

イ. 費 用 増減額 68,000千円

区 分	増減額(千円)	主な増減内容
資 産 減 耗 費	70,750	ブロック統廃合整備事業による松伏配水池の撤去工事費(30,000千円) 松伏配水池の除却(非経常的な資産減耗)に伴う経費(31,550千円)

資本的収支の増減内容

ア. 収 入 増減額 36,000千円

区 分	増減額(千円)	主な増減内容
県 補 助 金	35,239	岐阜県生活基盤施設耐震化等交付金事業(ブロック統廃合整備事業)の減

イ. 支 出 増減額 218,000千円

区 分	増減額(千円)	主な増減内容
建設改良事業費	219,056	214,002千円(工事請負費の減)、 5,054千円(設計委託の減)

職員給与費(給料・手当等・法定福利費、報酬は含まない)

・113,300千円 (前年度当初比 2,120千円、1.84%の減)
 ・職員数 14人(人数に増減なし)

(単位:千円)

科目	配水費2人	給水費1人	業務費1人	総係費3人	資本費7人
給料	7,497	4,355	3,576	9,815	27,963
手当等	5,026	2,088	2,051	11,370	23,160
法定福利費	2,248	1,098	905	3,447	8,701
計	14,771	7,541	6,532	24,632	59,824

賞与引当金、退職手当組合負担金を職員手当等へ、公務災害負担金を法定福利費に計上しています。

(3) 収益的支出の内訳

(単位:千円、税込)

区分	平成30年度	構成比 %	平成29年度	構成比 %	増減	増減率 %
受水費	1,148,400	49.7	1,151,000	51.3	2,600	0.2
減価償却費	696,000	30.1	704,061	31.4	8,061	1.1
委託料	171,574	7.4	159,484	7.1	12,090	7.6
職員給与費	53,476	2.3	55,453	2.5	1,977	3.6
資産減耗費	94,250	4.1	23,500	1.0	70,750	301.1
動力費	26,530	1.1	27,500	1.2	970	3.5
修繕費	45,810	2.0	45,365	2.0	445	1.0
支払利息	9,776	0.4	12,481	0.6	2,705	21.7
その他	65,184	2.8	64,156	2.9	1,028	1.6
計	2,311,000	100.0	2,243,000	100.0	68,000	3.0

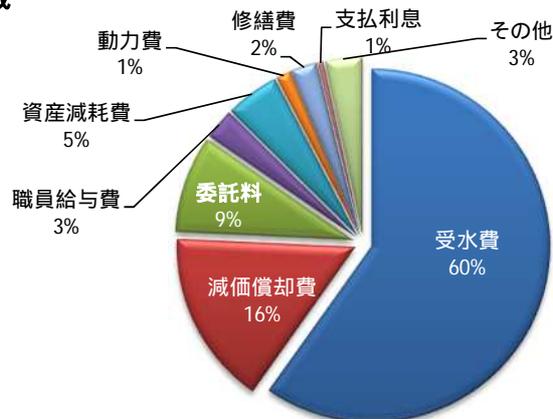
構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳と計が一致しない場合があります。

(4) 給水原価・供給単価

(単位:円、税込)

区分	平成30年度	平成29年度	増減	増減率 %
給水原価 (生産価格・税込)	186.53	185.43	1.10	0.6
供給単価 (販売価格・税込)	199.90	199.88	0.02	0.0

(5) 平成30年度 給水原価の構成



(6) 予定損益計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日、税抜)

		単位:千円	
営業収益	1,982,713		
営業費用	2,165,982		
		営業損失	<u>183,269</u>
営業外収益	410,550		
営業外費用	9,776	<u>400,774</u>	
		経常利益	<u>217,505</u>
特別利益	85,556		
特別損失	556		
予備費	3,000	<u>82,000</u>	
		当年度純利益	<u>299,505</u>
		前年度繰越利益剰余金	345,077
		当年度未処分利益剰余金	644,582 +

(7) 予定キャッシュ・フロー計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日【間接法】)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

		単位:千円	
当年度純利益		299,505	
減価償却費		696,000	
賞与引当金の増減額(減少は)		4,749	
長期前受金戻入額		390,031	
資本費繰入収益		12,442	
受取利息及び受取配当		4,131	
支払利息		9,776	
固定資産除却損		63,750	
未収金の増減額(増加は)		160	
その他流動資産の増減額(増加は)		1,000	
未払金の増減額(減少は)		908	
その他流動負債の増減額(減少は)		328	
小計		<u>669,252</u>	
利息及び配当金の受取額		4,131	
利息の支払額		<u>9,776</u>	
業務活動によるキャッシュ・フロー		<u>663,607</u>	

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	809,882	
有価証券の取得による支出	200,000	
有価証券の売却による収入	200,000	
国庫補助金等返還による支出	6,770	
国庫補助金等による収入	87,390	
負担金による収入	21,933	
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>707,329</u>	

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>63,300</u>	
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>63,300</u>	

資金の増加額(又は減少額)	107,022
資金期首残高	<u>2,066,514</u>
資金期末残高	<u>1,959,492</u>